

新しい働き方（新型コロナ感染予防）vol.2

新型コロナウイルス感染予防に沿った『新しい生活様式』に則った働き方を決めました。スタッフの健康管理も行い、無理をさせないシフトを組むようにする為、利用希望に応えられない日が増えることや、スタッフの欠勤による急な利用中止が増えるかと思っておりますので、各利用者の皆様も急な変更に対応していただけるようお願いいたします。

今後は社会状況に合わせて、順次修正していきたいと思っております。

1. 暮らしを支える支援は優先的に対応
2. ガイドヘルプ（移動支援・行動援護）の制限
3. 日中一時支援の利用制限（3密の回避）
4. 密接を避けた支援方法
5. 利用中止・出勤停止の判断
6. ヘルパーの体調管理
7. 感染予防の徹底
8. 個別的な柔軟な対応

◇ 詳細は以下ページに掲載

1. 暮らしを支える支援は優先的に対応

① 生活支援

- ・ 居宅介護（家事援助、入浴支援等）
- ・ 通院支援
- ・ 生活必需品等の買い物などへの同行

② 通所の支援

- ・ 通所先への送り迎えの支援

③ 本人や家族の気分転換の必要性が高い支援

- ・ 保護者の就労等により自宅で過ごすことが難しい方への支援
- ・ 自宅で長時間過ごすことが本人や同居家族等に過大なストレスになっている方への支援
- ・ 本人、保護者等の息抜きが必要な方への支援
- ・ その他、散歩等を希望される方への支援

- 対応可能なヘルパー体制での調整になります。
- 余暇目的のガイドヘルプ利用の自粛を促すものではありません。

2. ガイドヘルプ（移動支援・行動援護）の制限

- ① 可能な限り、電車・バス移動の距離を短くする過ごし方の提案
- ② 人混みや感染増加地域等を避けた外出先の提案
- ③ 可能な限り、店内飲食を避ける対応
- ④ 外出先施設（プール、遊戯施設、飲食店等）が定める感染予防対策のルールに従って対応をさせていただきます。

→事前にルールを調べ、利用者の方にとって守ることが困難又は苦痛を伴う場合には行き先変更などの提案をさせていただきます。また、対応が困難と判断した場合、希望に沿うことはできません。

- 余暇目的の外出や公共交通機関での移動を禁止している訳ではありません。
- 『楽しみ』と『感染予防』を両立させる支援内容を考えています。

3. 日中一時支援の利用制限（3密の回避）

① 人数制限

- ・ 同時刻に過ごす利用者数の上限を4名とさせていただきます。
- ・ 可能な限り同部屋で過ごさず、1階・和室・事務室に分かれて過ごしていただきます。

② 感染予防

- ・ マスク着用と消毒を行います。
- ・ 換気や空気清浄機を活用します。

➤ クラスタ発生を抑えるように配慮させていただきます。

4. 密接を避けた支援方法

① 距離を開け、接触を避けます

- ・ 安全な場所で見守り可能な場合、ヘルパーと利用者の距離は2m程度開けさせていただきます（可能な限り）。
- ・ 可能な限り利用者と手を繋かず、繋いだ後は手洗い又は消毒を行います。（お互いの感染予防）
→安全確保等で手を握る必要がある際は手を繋ぎます。
- ・ フェイスシールド等の感染予防備品を活用します。

② 負荷をかけない

- ・ 精神的・体力的な負担をかけ体調不良等の原因にならないよう配慮します。新しい活動などは避け、ご本人が過ごしやすいように配慮します。

➤ 適切な距離を保ち、お互いの感染予防に努めます。

5. 利用中止・出勤停止（感染・濃厚接触者）

① 感染者、濃厚接触者となった場合（保健所指示）

- ・ 利用者の方は利用中止となり、保健所の指示に従います。
- ・ 濃厚接触者となった場合は、PCR検査の結果に関わらず、接触日から二週間の自宅待機となります。自宅待機期間後、体調に異変なければ利用再開となります。

- ② 濃厚接触者との接触があった場合
 - ・ 濃厚接触者の検査結果が出るまで可能であれば利用中止とさせていただきます。
 - 濃厚接触者が陽性の場合、次に濃厚接触者に認定される可能性があります。
 - 陰性の場合、結果報告を聞いた時点以降に利用可能となります。
- ③ 通院支援時等に利用者がPCR検査を受けた場合
 - ・ 検査結果が出るまで利用中止とさせていただきます。
 - ・ 検査結果後の対応は上記②と同様になります。
- ④ 同居家族等がPCR検査を受けた場合
 - ・ 上記③と同様になります。

6. ヘルパーの体調管理

- ① 普段の体調管理（セルフケア）
 - ・ 各スタッフには栄養、休息、睡眠をとり、規則正しい生活をするよう伝えています。
 - ・ ストレスを溜め込まず、発散できるように心がけます。
 - ② ヘルパー体調不良による利用中止
 - ・ 各スタッフには、体調に異変を感じた際は無理して出勤せずに休むよう指導しています。
 - ・ 以前に比べ、スタッフを休ませる対応が増えると思いますので、ヘルパー欠勤による利用中止や担当変更が起こりやすくなる事にご理解願います。
 - ・ 各スタッフに検温等の体調管理を求めることから、当日朝に出勤不可になる場合があります。
 - ・ ヘルパーの欠勤による利用中止のリスクを少しでも軽くなる為、通常シフトにも余裕をもたせます。日によっては対応が難しい場合がありますので、ご理解願います。
- 急なヘルパー欠勤による利用中止になるケースが増えると思います。
 - 欠勤に備え、ゆとりあるシフト調整を行うため、対応不可の日が増える可能性があります。

- ヘルパー支援が中止になる可能性も考えていただき、代替手段（他事業所、親族等のサポート等）の想定も考えて頂ければ幸いです。

7. 感染予防の徹底

① 手洗い・マスク着用の徹底

- ・ ヘルパーはマスク着用で支援させていただきます。
- ・ 熱中症予防対策として、屋外で人が少ない場所や運動を伴う活動中ではマスクを外して対応させていただきます。
- ・ 夏場の入浴介助等、マスク着用がヘルパーの負担になる場面では外させていただきます。

② 事務所備品の消毒等

- ・ 共有物（電話、iPad、おもちゃ等）の使用後には消毒します。

8. 個別的な柔軟な対応

① 当たり前前の暮らしを支える為、オーダーメイドの支援を行う

- ・ 当法人の理念です。どんな状況下においても、利用者一人一人の状況に応じて支援をさせていただきます。